

平成24年度ライフスタイルイノベーション創出推進事業 採択テーマの概要

①育成ステージ

	研究開発テーマ名	中核企業	概要
1	健康増進のための野菜・果実ドリンクのベースとなる植物発酵エキスの開発	株式会社アメニティ (那覇市)	<p><研究の必要性> 近年、野菜を発酵した食品(発酵野菜エキス)の需要が増している。沖縄独自の野菜・薬草等による植物発酵エキスにより生活習慣病予防など健康増進に期待できる。</p> <p><研究内容> 沖縄地域の野菜・薬草の選定、微生物発酵技術を用いた植物発酵野菜エキスの試作開発及びエキス中の抗酸化活性等の評価を行う。</p>
2	マンゴーウコンを用いた健康補助食品の開発	株式会社ECOMAP (那覇市)	<p><研究の必要性> マンゴーウコンはインドで食用されるショウガ科ウコン属の香辛野菜で、その成分は脂質代謝の活性により肥満改善効果に繋がると知られているが、苦味が強いため商品開発の課題である。</p> <p><研究内容> マンゴーウコン(Curcuma amada ROXB.)の成分抽出方法および同定に関する研究を行い、新たな機能性を訴求した健康補助食品の開発を行う。</p>
3	自走式水陸両用車椅子の開発	株式会社大名 (南風原町)	<p><研究の必要性> 従来の製品化された水陸両用車椅子(チェアボート)は砂浜のバリアを克服し、重度障害者の海水浴を可能としたが、自走式で比較的活発に行動する方々は介助を要する乗り物では関心を示さないなどの福祉機器としての利用拡大に課題があった。マリンレジャー、リハビリ、誘客などでの利用が期待できる。</p> <p><研究内容> 介助を要せず、自身の両腕操作によって砂浜走行及び水上移動を可能とする駆動部を組み込んだ新たな水陸両用車椅子の開発及び市場調査を行う。</p>
4	沖縄特産農産加工副産物を利用した機能性食品の開発	金秀バイオ株式会社 (糸満市)	<p><研究の必要性> 沖縄地域農産物の加工副産物を乳酸菌を用いて高付加価値素材に変換することにより、既存の乳酸菌発酵食品と同様な生活習慣病予防等の健康効果が期待できる。さらに地域農業の持続的な生産体制の構築も期待できる。</p> <p><研究内容> 乳酸発酵技術により農産加工副産物(果皮、芯、葉部など)の発酵基剤への変換、発酵条件等の研究、風味・機能性成分の評価を実施し、高付加価値化した加工副産物の利用検討を行う。最終的には整腸作用や免疫力向上などに期待される乳酸菌配合製品の開発を目指す。</p>
5	沖縄産のアロマオイルとアロマ・コミュニケーション法の合体商品開発	有限会社サンシャトゥー (石垣市)	<p><研究の必要性> 超高齢化社会が進む中、家庭や施設においても介護の負担軽減を図っていくことは急務である。中核企業では、アロマを活用したコミュニケーション法によって、高齢者のQOLが改善に向かう手応えを感じており、有用性の検証や沖縄産のアロマオイルの付加価値の発見・創造していくことが必要である。</p> <p><研究内容> 沖縄産天然素材のパッションフルーツアロマオイルの開発、介護施設等への講習方法の確立及び要介護高齢者等へのアロマの有用性の観察調査を行う。</p>
6	沖縄産海藻からの新規発酵調味料の開発	株式会社シュアナチュラル (糸満市)	<p><研究の必要性> 近年、大豆や小麦アレルギーに悩む子どもが増え、給食に使用できない問題が増えつつあり、食品アレルギーや高血圧など生活習慣病患者も安心して使用できる調味料が望まれている。また、海藻を原料とした発酵調味料は市場になく、特に大豆などのデンプンと比較して、微生物による分解発酵しづらいことが課題となっている。</p> <p><研究内容> 海藻(モズク等)を原料とした発酵条件等の研究、大豆や小麦を使わないアレルギーフリー調味料・塩分制限のある人でも使用可能な商品開発を行う。</p>
7	海を利用した健康増進プログラム開発	株式会社21ざまみ (座間味村)	<p><研究の必要性> 沖縄の海のダイビングにおいて、さらなる安全・安心性や利用者の満足度の向上が課題となっており、健康や癒しなど新たな付加価値の高い活用方法も求められている。</p> <p><研究内容> 水中で会話ができる可視光通信技術を用い、スキューバダイビングの健康増進プログラムの開発及び水中可視光通信機器の改良、その健康癒し効果検証を行う。</p>

②実用化・実証ステージ

	テーマ名	中核企業	概要
1	製塩過程の副産物・にがりを活用する健康改善を指向した商品開発	株式会社石垣の塩 (石垣市)	<p><研究の必要性> 自社のスパ施設の利用者から、アトピー性皮膚炎の改善など様々な体質改善を実感する声や商品化を期待する声などがあるが、有効性の元になる化学成分やメカニズムは曖昧で、商品開発上の課題となっている。</p> <p><研究内容> アトピー性皮膚炎等の具体的な健康上の悩みを抱える人々が安心して利用できる商品に繋がる研究開発として、にがりの成分濃縮技術の研究と、体質改善に有望な成分の調査研究、栄養補助食品や体質改善のための浴用剤・薬用ローション等の開発と有用性評価を行う。</p>
2	バカス炭化技術を応用し、ハニカム(蜂の巣)構造を有した新食物繊維の開発	株式会社沖縄ウコン堂 (宜野湾市)	<p><研究の必要性> 近年、炭の持つ強力な吸着作用が注目され、食用炭として腸内環境改善やメタボリック改善素材として注目されはじめている。</p> <p><研究内容> 沖縄産のさとうきびバカスの炭化技術を応用することで得られるハニカム(蜂の巣)構造を有する新食物繊維の有効性や安全性についての研究を行う。</p>
3	衝撃波による月桃精油生産の高度化システム実証研究	有限会社グリーンプラン新城 (今帰仁村)	<p><研究の必要性> 沖縄県に自生する月桃は、抽出物に抗酸化活性など生理活性が報告されており、精油やアロマセラピーや化粧品などへの利用による需要が大きい。抗酸化物質の含有量や抽出効率の低さが課題である。</p> <p><研究内容> 衝撃波処理技術による月桃精油のさらなる機能性成分の抽出と生産性の向上に向けた研究及びこれらを用いたさらに高付加価値の月桃精油等の商品開発を行う。</p>
4	沖縄県地域自然素材「琉球ヘナ」および「琉球藍」を併用した染毛剤の開発	株式会社レイ企画 (那覇市)	<p><研究の必要性> 現在、一般に用いられている染毛剤はそのほとんどが、化学染毛時の臭気や化学物質によるアレルギーの発症や肌荒れが問題視されている。</p> <p><研究内容> 沖縄県地域自然素材「琉球ヘナ」および「琉球藍」の天然植物色素を用いた、安全安心かつ付加価値の高い染毛剤の開発に向けて、原料加工技術等の確立や事業性評価を行う。</p>

(中核企業の50音順)